

令和4年9月28日

銭函中学校保護者の皆様

樽市立銭函中学校長

田中 孝二

令和4年度7月 保護者アンケート結果について

清秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、先日は「銭函中学校の教育に関するアンケート調査」にご協力をいただきまして誠にありがとうございました。いただきました貴重なご意見を、今後の学校改善に役立てていきたく思います。アンケート結果（グラフ）は別紙をご覧ください。

<アンケート結果の分析について>

ほとんどの項目において、「ややあてはまる」を中心に肯定的な回答が多く、現在の銭函中学校が、生徒にとって充実した学習・生活環境になってきていることが伝わってきます。

特にNo.11の項目「お子さんは人間関係が良好で楽しく学校へ通っている」は、回答数の90%以上に肯定的をご意見をいただいております。なお、思春期である中学校期は様々な人間関係のトラブルがあって当たり前の時期です。不安がある場合は、担任等に速やかに相談していただければと思います。

また、No.8「学校はタブレット端末活用等を通し、臨時休校の際に学びを止めないための準備を進めている。」については、臨時休校の時のみならず、長期欠席の場合もオンライン授業配信を行っております。ご利用の場合は担任までご相談ください。

その一方で、No.2「学校は楽しい・わかった・できたと感じられる授業を行っている。」については、他と比べ数値が低くなっております。校内研修や校外での研修プログラムへの参加を通し、それぞれが指導方法のスキルアップを図っていきます。同時に、今年4月実施の「全国学力学習状況調査」(3年生対象)では、「平日の学校外での学習時間」が1時間以下の生徒が47.2%(全国平均30.4%)と、家庭での学習時間の少なさが浮き彫りとなっています。教えられたことが定着（わかる）ためには自立した学習が必要不可欠ですので、学習習慣の確立に向けて学校と家庭とで連携を深めていきたいと思っております。

記述式のご意見についてもすべて読ませていただき、全職員で共有いたしました（裏面参照）。励ましの温かいお言葉も多数いただきまして感謝申し上げます。詳しくは、別紙をご覧ください。

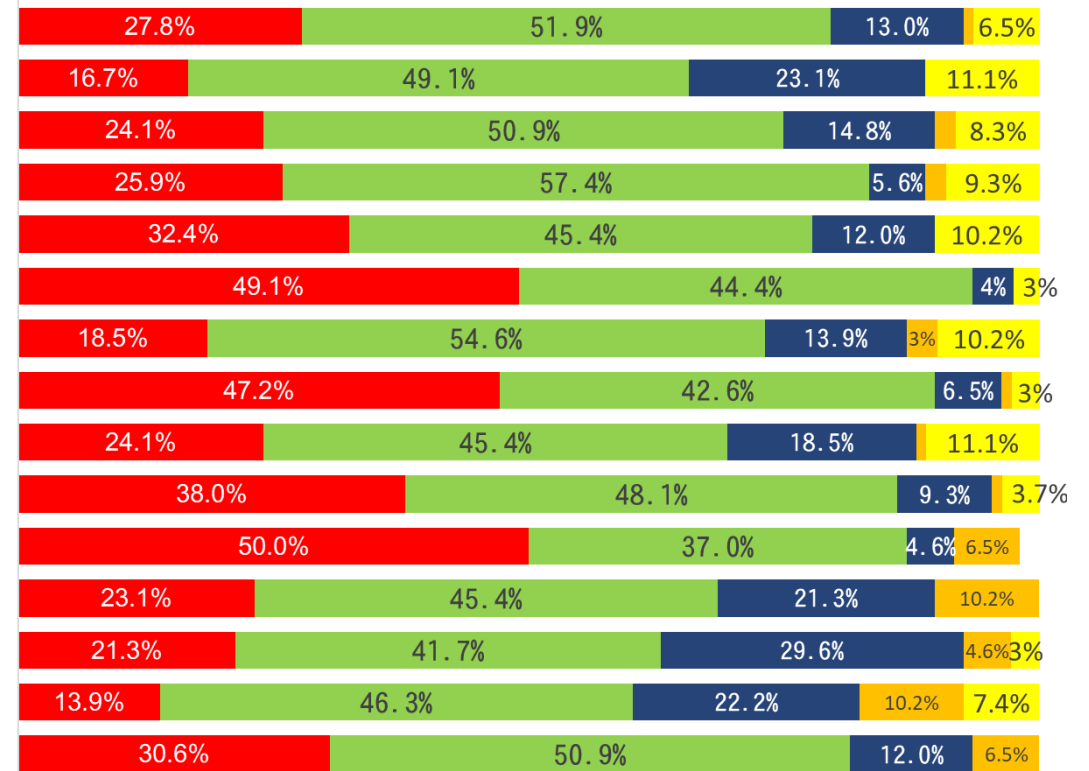
今後も、引き続き学校だよりやホームページ上で学校の様子をお伝えしていきます。お子さんのこと、学校教育に関することでのお問合せ、ご相談はいつでも受けいたします。保護者の皆様と学校、そして地域ぐるみで、小樽・銭函の未来を担う人を育ててまいります。

(今回は電子入力での回答数が少なかったため紙媒体での調査を追加実施しました。12月実施の調査の際には、作業効率を高め、脱炭素社会の実現からの観点からも電子入力にご協力をお願いします。)

授業がわからない。聞ける環境をつくってほしい。	ご意見ありがとうございます。個々の教師の授業のレベルアップについては、研修会参加や相互授業参観等を通じて研修を積んでいきます。勉強でわからない際はいつでも質問してください。会議等と重ならない限り、早急に対応します。また、不定期ですが放課後学習会を開催しているので、活用するようお子さんに勧めてください。
一部の教師の言動に不満がある。教員のメンタルケアが行き届いていないのではないかと。	ご指摘ありがとうございます。気になる言動について随時、連絡をいただくようお願いいたします。年に複数回、全職員と行っている管理職面談のみならず、いただいた意見をもとに、随時、指導・監督を行ってまいります。
テスト直前まで授業を終わらせていないのはテスト勉強に支障が出る。一週間前には終わらせてほしい。	ご意見ありがとうございます。テスト直前に新たに学んだことが直後のテスト範囲に入っていると、学習内容の定着に向けてテスト勉強をする時間が足りないというご意見だと拝察しました。授業進度については、学習指導要領による標準時数（例：3年英語なら年間140時間）により各教科計画的に進めていますが、ご意見を受け、テスト範囲の指定についても考慮してまいりたいと考えます。定期テストの目的は、各教科の学びがどの程度定着しているかを測るとともに、学校の指導方法の向上に生かすことでもあります。もちろん学期ごとの学習評価はテストの結果のみで行っているわけではありませんが、よりよい評価の在り方について、今後も研修を重ねてまいります。
パン食反対。せめて持ち帰りをありにしてほしい。	ご意見ありがとうございます。献立についてはカロリーバランス等を考慮し、小樽市給食センターが毎月決めております。また、持ち帰りについては、衛生上の理由で全学的に禁止されておりますので、ご了承ください。
一斉メールで情報をもっと流してほしい。	ご意見ありがとうございます。送信する量が多いと「どれが重要かわからない」という声をいただいたこともあり、お子さんの安全に関わる部分を中心に送信しております。自立した大人に成長するためにも、学校発出の文書は自分で判断して締め切りに間に合うように保護者に確実に渡すように指導しております。ご理解の程をお願いします。
ICT 教育を長期休業中にもっと取り組めたのではないかと。	ご意見ありがとうございます。今回の夏休みは一部の教科で、宿題としてタブレット端末を活用した課題を出しました。タブレット端末を使用した方が効果が上がる取り組みについては、目的を確認したうえで、今後、順次扱いを拡大していく予定でおります。
進路、受験については親がどこまで学校に相談してよいかわからない。	どのようなことでもご相談ください。最終的には自分自身での進路決定に向けて、お子さん、保護者の方とともに一緒に考えていきたいので、ご相談をお待ちしております。
同じ教科でも担当によって評価が異なる。	ご意見ありがとうございます。現在、全教科で統一した評価基準を用いて評価しております。指導者によって、視点や基準についてはブレが生じないようにさらに研修を深めていきます。
部活動にあまり力を入れていないように見えます。空いた時間はスマホかゲームばかりです。	ご意見ありがとうございます。スポーツ庁の指針で「平日は2時間以内、休日は3時間以内の活動。それぞれ週1回以上（計2回以上）の休養日を定めること」となっております。学校では、タイムスケジュール表の記入（11月実施予定）などを通して、自分で時間をマネジメントする能力の育成を図っています。家庭や地域と手を取り合って、地域を支える自立した大人を育成していければと思います。

銭函中の教育（R4. 7）

- 1 学校は、子供たちに基本的な学力が身につくように学習指導をしている。
- 2 学校は、子供たちが「楽しい・わかった・できた」と感じられるように授業を工夫している。
- 3 学校は挨拶や礼儀などの社会性を育て、基本的な生活習慣の定着に向けた指導に努めている。
- 4 学校は子供の理解に努め、挨拶などの社会性を育て、基本的な生活習慣の定着に努めている。
- 5 学校は保健体育の授業や部活動の取組などを通して、体力の向上に努めている。
- 6 学校は安全な環境を整え、安心メールの送信など危険回避のための情報発信に努めている。
- 7 学校はネットやスマホの正しい利用方法など、情報モラル教育を進めている。
- 8 学校はタブレット端末の活用等を通し、登校できない場合も学べる手立てを講じている。
- 9 学校は将来の夢や目標がもてるよう、自己実現に向けた進路指導に努めている。
- 10 学校は学校の様子を、学校だよりや学校ホームページなどでわかりやすく伝えている。
- 11 お子さんは人間関係が良好で、楽しく学校に登校している。
- 12 お子さんはやると決めたことはやりぬくなど、自律的に生活する習慣が身についている。
- 13 お子さんはネットやスマホの使用について、家庭のルールを守っている。
- 14 ご自身はPTAや地域の活動に参加している。
- 15 ご自身は学校から配布される文書は必ず読んでいます。



■ 1 よい
 ■ 2 おおむねよい
 ■ 3 あまりよくない
 ■ 4 よくない
 ■ 5 わからない
 （問13のみ「家庭でのルールはない」）

※カラー版は学校ホームページに掲載しております。

- ・ 見にくくなるため、2%以下はグラフ内の数値表示を割愛しております。
- ・ 質問文は一部要約しております。
- ・ 回答数 114/188(家庭実数) 60.6%